

教育基本法との対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色（ページ）
<p><b>第1号</b></p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4年間を通じて使用する教材のため、<b>児童の発達段階に応じた地図表現・配列を工夫するとともに、縮尺に応じて地名の取捨選択</b>を行っています。</li> <li>(例) <b>おもに3年生向け</b>：「地図で世界発見！」(p.1-3)、「地図で日本発見！」(p.4-6)、「広く見わたす地図」(p.21-30)／<b>おもに4～6年生向け</b>：「日本の各地方・都市の地図」(p.33-80)、「世界の地図」(p.83-94)、「都道府県の名前と位置」(p.128-129)、「世界の国々」(p.130-132)</li> <li>○ <b>日本の領域（領土・領海など）を正しく理解できるように</b>、日本とその周辺の地図とともに、領域の概念図と日本固有の島々の写真を掲載しています(p.31-32)。</li> <li>○ <b>都道府県の名称と位置を確実に習得できるページ</b>を設けています(p.128-129)。</li> <li>○ 地図の初学者である<b>3年生が親しみを持って地図学習を始められるページ</b>を巻頭に設けています(p.1-16)。</li> <li>○ <b>国土の地形や地域間の結びつきが直感的に捉えられる縮尺1/160万</b>「広く見わたす地図」を設けています(p.21-30)。</li> <li>○ <b>都道府県の位置や大きさを正しく捉えられるように</b>、「日本の各地方を見る地図」は縮尺を原則として1/100万、1/50万で統一しています(p.33-80)。</li> <li>○ <b>大都市とその周辺のようにがより詳細に読み取れる地方拡大図や都市圏図・都市図</b>(縮尺1/50万、1/30万、1/20万、1/5万)を設けています(p.33、37-38、43-44、47-48、49-50、51-52、53-54、59-60、61、65-66、67-68、71-73、76)。</li> <li>○ <b>各大陸及び各海洋の位置や大きさが正確に理解できるように</b>、世界の州別地図は縮尺1/4000万で統一しています(p.83-84、87-88、91-92)。</li> <li>○ 日本と関係が深いアジア、ヨーロッパ、アメリカ合衆国は別途拡大図を設けています(p.85-86、89-90、93-94)。</li> <li>○ 巻末には、<b>日本と世界の統計・グラフ</b>を設けて、<b>さまざまな学習場面と関連づけられるように</b>しています(p.111-114)。</li> </ul>
<p><b>第2号</b></p> <p>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>地図を使って社会的な見方・考え方を働かせられるように</b>、地図を見る視点を示唆したり、活用を促したりするキャラクターを適宜配置しています(本書全体)。</li> <li>○ <b>地図に対する興味・関心を引きつけ、地図活用技能や知識が身につけられるように</b>、「地図マスターへの道」のコーナーを全100問設けています(本書全体)。また、巻末に<b>児童自らが取り組みを記録できる「地図マスターへの道」のまとめページ</b>を設けています。自学自習を進める中で、<b>地図活用のスキルや社会科の知識を身につけたり社会的な見方・考え方を働かせる深い学びにつなげたりすることができます</b>(p.124)。</li> <li>○ <b>生涯にわたって地図を使いこなすための基礎・基本を身につけられるように</b>、「地図のやくそく」「地図帳の使い方」を14ページにわたって丁寧に扱っています。各ページには会話形式の解説と「トライ！」による反復で確実に基礎・基本を身につけられる工夫をしています(p.7-20)。</li> <li>○ 学習を支援するQRコンテンツでは、<b>アニメーションによる解説やクイズ、動画やVR画像など、デジタル端末を活用した主体的な学びにつながるコンテンツを豊富に設置</b>しています(本書全体)。</li> <li>○ 地図中の都道府県名や都道府県庁所在地名は、「<b>とめ・はね・はらい</b>」が正しい<b>ユニバーサルデザイン(UD)学参フォント</b>を採用しています(日本地図部分)。</li> <li>○ 地名の漢字は、原則として各自治体が定めた正式な字を採用し、<b>すべての地名に漢字と対応する位置にルビ(ふりがな)を付している</b>ので、正しい知識を身につけられます(本書全体)。</li> </ul>
<p><b>第3号</b></p> <p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>すべての児童が活用しやすい地図帳を目指し、ユニバーサルデザイン</b>(レイアウト統一、文字やフォントの大きさ、文節改行、色覚特性に配慮した色づかい)を取り入れています(本書全体)。</li> <li>○ <b>インクルーシブ教育に配慮し、手話による都道府県名の表し方を紹介</b>したコーナー「手話で表す都道府県」を設けています(p.128)。</li> <li>○ <b>男女平等の視点を意識し</b>、男女の児童キャラクターが、ほぼ同数登場するようにしています(本書全体)。</li> <li>○ <b>他者との協調と協力の態度育成を意識し</b>、キャラクターどうしが教え合いながら学習していく場面を設定しています(p.7-20など)。</li> <li>○ <b>防災意識が高められるように</b>、日本列島で起こった自然災害の事例を学ぶページを設けています。また、<b>自然災害に備え、子ども自らが身を守るために何ができるかを考える</b>、「防災マップづくり」を詳しく紹介しています(p.99-102)。</li> <li>○ <b>防災・減災に取り組む人々の努力を地域事例で取り上げています</b>(p.60②「洪水への備え」/p.49-50、51-52、67-68、71-73「おもな広域防災拠点」「災害時のおもな避難場所」の凡例)。</li> </ul>
<p><b>第4号</b></p> <p>生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>かけがえのない自然を大切に</b>する態度をはぐくめるように、「天然記念物」「貴重な動植物」「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」「世界ジオパーク」などをイラストや絵記号で掲載しています(p.33-80、127)。</li> <li>○ <b>環境保全への人々の取り組みを学べるように</b>、風力発電や地熱発電、太陽光発電など、<b>自然エネルギーを使用した大規模な発電所がわかる記号</b>を設けています(p.33-80)。</li> </ul>
<p><b>第5号</b></p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の各地方を見る地図(縮尺1/100万、1/50万)」は、<b>人々のくらしが読み取れるように</b>、土地の高さによる色分け(<b>等高段彩表現</b>)に、市街地、田・畑など土地の使い方による色分け(<b>土地利用表現</b>)を組み合わせた地図表現を採用しています(p.33-80)。</li> <li>○ <b>郷土を愛する態度をはぐくめるように</b>、各地で守り伝えられてきた<b>祭り、伝統行事、伝統的工芸品、歴史的建造物、自然</b>などをイラストや絵記号で掲載しています(本書全体)。</li> <li>○ <b>伝統と文化を尊重する態度をはぐくめるように</b>、地図中の歴史地名や世界遺産を、それぞれ青色と緑色の反転文字で示して目立たせています(本書全体)。また、<b>日本の歴史と世界文化遺産</b>を取り上げたページを設けています(p.55-56、69-70、109-110、127)。さらに、世界文化遺産や歴史地名が集中する<b>奈良と京都の都市図は見開き</b>で取り上げています(p.53-54)。</li> <li>○ 日本各地の<b>特色ある産業・生活に関わる地域主題図</b>を掲載しています(p.60②、p.61①、p.74②、p.79③、p.96③)。</li> <li>○ <b>他国を尊重する態度をはぐくめるように</b>、巻末の世界全図には、<b>197か国の国名と国旗</b>を掲載しています(p.130-132)。</li> <li>○ <b>世界への興味・関心が高まるように</b>、巻頭の「地図で世界発見！」には、おもな国の挨拶やイラストを入れています。また、QRコードのリンクで<b>世界の挨拶を音声で収録</b>しています(p.1-3)。</li> <li>○ <b>他国の理解が深まるように</b>、世界の州別地図及びアメリカ合衆国の地図には、産業、文化、世界遺産に関わるイラストや現地生活のようすがわかる写真を掲載しています。また、<b>国際社会を生きるうえで大切な英語の習得に資する</b>ように、おもな国の国名や都市名、アメリカ合衆国の州名に<b>英語表記</b>を付記しています(p.83-94)。</li> <li>○ <b>持続可能な社会を実現するための考え方を</b>はぐくめるように、<b>SDGsの特設ページ</b>(p.125-126)を設けたほか、SDGsに関連する写真や図表にSDGsのアイコンを設置しています(本書全体)。</li> </ul>